



「総監挨拶」

横須賀地方総監

海将 松岡貞義



横須賀水交会の皆様には、平素から横須賀所在の部隊や機関に対しまして格別のご支援、ご高配を賜りまして、心から厚くお礼申し上げます。

私は、3月24日に航空集団司令官から横須賀地方総監に就任し、既に4か月が経過しましたが、帝国海軍以来の長い歴史と伝統を有し、また日米同盟の最前線でもある横須賀の地で、総監として日々その重責

を感じながら緊張して勤務しております。

さて、海上自衛隊は、開始以来8年目を迎えたインド洋での補給支援活動に加え、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処のために護衛艦やP-3C哨戒機を派遣し、派遣部隊は、船舶の護衛や哨戒飛行に従事しております。こうしたインド洋やソマリア沖・アデン湾での海上自衛隊の活動は、国内においては海上自衛隊の存在意義が広く国民に理解され、その活躍に大きな期待が寄せられており、また国際社会からも高く評価されております。

しかし、その一方で一昨年来のイギリス艦の情報流出事案や「あたご」と漁船との衝突事故などの一連の不祥事により、国民から厳しい評価を受けているのも事実であります。このため海上自衛隊は、一連の不祥事に対する痛切な反省の上に

発行 平成21年7月22日
編集 横須賀水交会事務局

立ち、切迫感とスピード感をもって再発防止に取り組むとともに、対処

療法的な対策にとどまることなく、組織に内在する根本的な問題を掘り起こし、抜本的な解決を図ることとされました。特に平成21年度は、改革元年に位置づけられる改革の初年度であり、海上自衛隊一丸となつて抜本的改革に取り組んでいるところであり、横須賀地方隊においても、「チャレンジ再生」を掲げて隊員の意識改革を促しながら、増大多様化した業務の思い切つた削減、見直しを推進しております。

横須賀地方総監部では、毎月2回定年退職行事を実施しています。退職行事においては、海上幕僚長からの感謝の辞を伝達し、退職隊員との懇談を実施しております。懇談においては、退職隊員から入隊以来三数十年に及ぶ在職中の思い出や退職後の抱負などを伺っていますが、総監として海上自衛隊という組織に対する感謝の気持ちや後輩に対する愛情に溢れた所見を述べられます。そ

横須賀水交会主要行事予定
11月までの主要行事予定は、次のとおりです。多くの会員の参加をお願いします。

1 幹事会

(1) 期日 8月8日(土)

(2) 場所 横監大会議室

2 防衛諸団体合同夏期防衛講座

(1) 期日 8月26日(水)

講話 1530～1730

懇親会 1745～1900

(2) 場所 記念艦「三笠」

(3) 講師 前駐米日本国大使 加藤良三氏

(4) 演題「日米関係と日本の安全保障」

3 部隊研修

10月(計画中)

4 第19回ゴルフ大会

10月(計画中)

の際には退職後も引き続き現役後輩隊員に対するご指導とご支援をお願いしておりますが、残念なことは隊友会に比べ水交会に入会する退職隊員の数が必ずしも多くないことです。昨年度、当地方隊では幹部、

准曹、併せて112名の退職隊員を送り出しましたが、そのうち隊友会入会者は65名(58%)であるのに対して、水交会入会者は25名(22%)でした。在職中は海自という組織に対して強い帰属意識をもって勤務してきた隊員が、退職後には海自やその支援団体から疎遠になってしまふことは残念でなりません。総監としてもこの現実の入会率の低さを甘受することなく、入会率向上のために機会を捉えて現役隊員の啓蒙に努めているところです。そのような観点から見れば、横須賀水交会が独自事業として、「海自OBの再(再)就職支援事業」や「会員相互の親睦事業の拡充」など水交会会員としてのメリットが感じられる新しい事業にチャレンジされておられることは大変意義深く、会勢拡充のためにも今後とも強力に推進していただきたいと思います。

私は、先日、長崎会長のご案内により、横須賀水交会の有志会員の方々と親しく懇談する機会を得ました。懇談を通じて、有志会員の方々の海事思想の普及や海自への

協力支援並びに地元と海自との共存共栄のあり方などに対する熱き想いに触れ、総監として大変有り難く、また心強く感じました。

このような横須賀水交会ならではの意欲的な取り組みや異業種の方々との交流は、今後の横須賀水交会の更なる活性化につながるものと期待いたしております。

横須賀水交会の皆様には、今後とも横須賀所在の部隊、機関に対しまして変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、横須賀水交会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

平成21年度定期総会開催

5月15日(金)よこすか平安閣において平成21年度定期総会が開催された。

信兼幹事の司会により、物故者に黙祷を捧げた後、会則の規定により長崎会長を議長として、3議案について審議が行われ、いずれも賛成多数で了承された。その概要は次のと

おりである。20年度事業においては、26名の新人会員があり、66名の会員数であること、また、各事業は概ね計画どおり実施され、順調に推移したことが報告された。



新役員については、6名の新役員、3名の退任及び2名の異動が了承された。

なお、新役員の名称は公益法人化移行作業の一環として、総会での了承後、理事から幹事に変更された。21年度事業については、本部が提起した「21年度事業計画」に基づき例年どおりの事業を計画し了承された。

審議に引続き、一般討議においては、公益法人化移行作業にあわせ、横須賀水交会が実施している会則改訂作業の中間報告が計画された。まず、挨拶を兼ねて夏川理事長から公益法人化作業の進捗状況等について説明を受けた。公益法人化のためには、本部と支部組織との会計

処理の一体化、本部役員の構成など大きな変革があるが、従来の水交会の性格を確保して新制度の要件を満たすべく、現在、定款(案)を作成し、関係省と調整しているところであり、会員の皆様の理解と協力をお願いしたいとの発言があった。

その後、土井幹事長から会則改定作業の中間報告として、改定の前提条件及び会則(案)の説明を行った。今後は(案)について、幹事会が中心となり、本部との調整を行い、会則改定を推進することとなった。重要な案件であり、時間をオーバーして一般討議が行われたことから、会員には理解が得られたものと思われる。最後に新旧役員及び新入会員の紹介を行い、総会は成功裏に終了した。

総会に引続き、「我が国の海洋戦略」と題して、自衛艦隊司令官 泉海将による講演が行われた。講演に先立ち、泉司令官からは、護衛艦による海賊対処及びP-3Cの派遣、19年度末に実施した護衛艦部隊の改組に対する成果と課題及び新型護衛艦「ひゅうが」の戦力化の3点についての現状説明があり、まだまだ

だやるべきことが多く、誠実に実施するとの率直な発言を聞いて、益々の海上自衛隊の発展に期待した。

講演は、

中国海軍の戦略と艦艇等の動向、東シナ海の資源問題、中東から東アジアにか



けるの「真珠の数珠」等、拡大発展する中国の海洋政策について、豊富なデータに基づき解り易く説明した後、輸出入の99.7%を船舶に頼っている我が国の商船隊について、皆無の海運政策から海上輸送を外国に依存する状況にあるとの問題を提起し、我が国の海洋政策の方向として、日本船籍の確保 日本人船員の確保 シーレーン防衛 海洋資源の確保の必要性が提案された。

講演終了後会場を移し、蒲谷横須賀市長などの一般来賓、五百頭防衛大学校長、泉自衛艦隊司令官等部隊指揮官及び先任伍長等、多数の来賓の臨席を得て、懇親会が開始された。長崎会長の力強い挨拶(に続いて、蒲谷横須賀市長からは、原子力空母配備などで見られた市と防衛省・自衛隊及び米海軍との協力関係の継続と水交会に対する期待のこもった祝辞が、また、泉司令官からは、海外で活躍する隊員は国民の皆様からの「ありがとう」の言葉で苦勞を乗り越えることができますと、支援に対する謝辞が述べられた。引き続き、来賓紹介、祝電披露へと進み、そして、河野護衛艦隊司令官の音頭で高らかに乾杯し、懇談に入った。会場のあちこちに再会と交流の輪が広がったが、永田潜水艦隊司令官の発声による万歳三唱をもって、名残惜しくも散会した。(岩永幹事 記)



総会懇親会における会長挨拶

本日は蒲谷横須賀市長、五百頭防衛大学校長、泉自衛艦隊司令官はじめ多数のご来賓のご臨席を賜り誠にありがとうございました。

横須賀水

交会会長の長崎でございます。只今総会を無事終了し、その後、泉



自衛艦隊司令官より、我が国の海洋戦略」と題しまして貴重なるご講話を頂きました。ありがとうございました。

さて、政治、経済が混迷する我が国の現在にあつて自衛隊特に海上自衛隊の活躍は目覚ましいものがあります。北朝鮮のミサイル発射にはイージス艦の活躍でどれほど国民が安堵したことでありましょう。ソマリア沖の海賊対処には法制面の不備による不十分な権限でありながら見事な成果を挙げており、国益に寄与する所極めて大であります。これらの行動も整齐と行われ正に

平素からの精神面を含む海上自衛隊の教育、訓練の賜では無いでしょうか。最近自衛隊内では中央からの圧力による言論統制あるいは隊員に日本人としての誇り、希望を失わせるような歴史観のない教育が押し付けられている事を耳にし、心配をしているところで御座います。どうか今まで培ってきた素晴らしい教育を続けていってほしいとの切に願っております。

国内に目を転じました時、今の我が国にあつて「希望」はあるのでしょうか。個々人はともかくとして日本人全体として明日への希望があるのでしょうか。この国は豊かになるのでもありません。本当に欲しいものは何でもあるのです。でも「希望」だけがないとも言われております。

司馬遼太郎氏の言葉を借りれば、日本は一心に「坂の上の雲」を追い続けついに「坂の上」に立つことが出来るようになりました。しかしその時我々が感じたのは皮肉にも求めていた雲は消えていたのであります。求めていた雲は何処へ行ってしまったのでありましょうか。見えなくなってしまったのであります。

戦後の我が国は「個人の充実」を金科玉条の如く求め続け、「奉仕する精神」を大きく欠落していったのではないのでしょうか。そこに「希望」を見失ってしまった落とし穴があるように私は思えてなりません。

私は現職の制服の皆さんを大きな誇りに思っております。それは制服の皆さんが自分自身より大きな何かの中に次元の高い意義を進んで見出そうとする意思を奉仕として体現しているからであります。

これこそが今の日本人に求められている精神文化なのではないでしょうか。そこから日本人として明日への「希望」が見えてくるようになるのではないのでしょうか。横須賀水交會会員の皆様は少なくともこの精神はお持ちで御座います。最近会員から届いたメールの一部をご紹介します。

「器の大きな私よりも年長のいい男達に混ぜてもらって毎日ウーニー！と唸ってばかりいます。気持ち清清しく考えが大きくなります。学ばせてもらう事ばかりです。お金儲けの世界になってしまった今、確かに

金も大切でもそればかりじゃないだろう！」という今や絶滅品種になりかかっている魂を持った、困難に對して戦っているファイターに入れて頂き末席を汚しております。」(一部省略)

最後になりましたがご来賓の皆様におかれましては今後とも今まで同様横須賀水交會に對しまして暖かいご支援ご厚情をお願い致しますと共に本席へのご臨席に感謝申し上げます。

練習艦隊入港を歓迎

4月1日(水)練習艦隊(司令官河村正雄海将補、護衛艦「ゆうぎり」及び練習艦「かしま」「しまゆき」)が、桜満開の横須賀吉倉港に入港した。近海練習航海(その2)として、3月20日江田内発、大阪、鳥羽沖、大湊に寄航したあと、最終寄港地として横須賀に入港した。同艦隊には第59期一般幹部候補生課程を修業した初任幹部約170名(うち女性13名、タイ王国留学生1名)を含む約700名が乗艦しているとのことである。

岸壁では横須賀地方総監松岡海将以下多くの現役隊員、また、山口横須賀市議会議長をはじめ市議、市代表及び支援団体関係者等多数が出迎えた。横須賀水交會からも



長崎会長をはじめ多くの会員が参列、自衛艦旗の小旗を振って歓迎した。横須賀音楽隊と練習艦隊音楽隊の演奏交換の中、「かしま」「ゆうぎり」「しまゆき」の順で係留し、歓迎式典が執り行われた。山口市議会議長の歓迎の辞、司令官、実習幹部、乗員代表等に対し市代表、長崎横須賀水交會会長等からの花束贈呈、河村司令官の挨拶と、短い時間であったが、厳粛な中にも心のこもった入港歓迎行事であった。

同日、市内において、横須賀市、横須賀市議会、横須賀商工会議所、横須賀防衛協会そして横須賀地方総監部の共催で壮行会が行われ、横須賀水交會からも、長崎会長など約20名が参加した。壮行会では、会長である蒲谷市長から練習艦隊・実習幹部に対し心温かい激励が、壮行会へのお礼として、河村司令官から遠洋練習航海では自衛隊を担う幹部を育てるとの力強い決意が述べられた後、実習幹部を代表して竹島3尉から実習を通じて立派な幹部になるとの宣誓があり、参加者一同、未来の海上自衛隊に期待し、若い幹部との懇談に大いに盛り上がり、練習艦隊の壮途を祝した。



壮行会に引き続き、司令官はじめ各艦長、前任伍長等を招待し、横須賀水交會主催の歓迎夕食会を開催し、横須賀入港の歓迎と遠洋航海の鹿島立ちをお祝いした。

この後、練習艦隊は4月6日東京(晴海)に回航、同16日から9月8日の約5ヶ月に及ぶ遠洋練習航海(南アジア・中近東方面、14ヶ

国)に船出する。今航海は、南シナ海、マラッカ海峡、インド洋、ペルシヤ湾、ソマリア沖、紅海、スエズ運河、ボスポラス海峡及び黒海に至る全航程約2万4千海里であり、世界が注目し、海上自衛隊が国際貢献している海域等、我が国にとって重要な航路等の通過及び関係国の訪問であり、実習幹部には訓練のみならず、国際感覚を身に付けるとともに若い外交官として諸外国との友好を深めてもらいたい。安全なる航海を心より祈念する。(岩永幹事 記)

護衛艦「ひゅうが」就役

横須賀初入港歓迎

ヘリコプター搭載型護衛艦「ひゅうが」(艦長 山田勝規1等海佐 基準排水量1万3千5百トン)が3月18日、アイ・エイチ・アイ・マリンユニテッド横浜工場で、防衛省へ引き渡され、武田防衛大臣政務官から自衛艦旗を授与され就役した。

「ひゅうが」は、艦橋は右舷側に寄り、飛行甲板は全通甲板であり、新聞等ではヘリ空母とも報道され

ている。

同艦は第1護衛隊群第1護衛隊に編入され、同日午後、横須賀に初入港した。

蒲谷横須賀市長はじめ地元各界の代表、防衛諸団体の代表等の盛大な出迎えを受け、凛々しい初代乗組員に花束が贈呈された。

飛行甲板の高さは、なみクラスの艦橋程度であり、

岸壁からは上甲板が良く見えない大きさである。

見学时、約百名収容できる多目的区画での概要説明、広い飛行甲板に第51航空隊のヘリ SH 60K を展示されるなど、本艦の特徴をよく披瀝されていた。

これから就役訓練等多忙になりますが、早期に戦力化され、活躍されることを期待します。

海上自衛隊発足当時から悲願であった、ヘリコプター搭載大型護



衛艦の就役を心から祝いたい。

本多副会長 記

新砕氷艦「しらせ」就役

横須賀初入港歓迎

5月25日、新砕氷艦「しらせ」(艦長 小梅三津男1等海佐 乗組員約180人、基準排水量1万2千5百トン)が横須賀港に初入港した。同艦は、ユニバーサル造船(株)舞鶴事業所で建造、5月20日、防衛省へ引渡され、就役したものである。

横須賀

地方総監

松岡貞義

海将主催

の入港歓迎

の行事は、

蒲谷亮一

横須賀市長はじめ

地元各界の代表、横須賀水交会など防衛諸団体の代表等が参加し、初代艦長、乗組員に花束が贈呈された。

砕氷艦は南極観測支援で度々報道されており一般の気持は高く、入港出迎え行事の参加者が多く、極めて



て盛大な行事であった。

新「しらせ」は、煙突2本であり、両舷に装備、全体に丸みを持ったイメージである。環境保全に配慮して建造され、エコシップとも云われている。

公開時、広い艦橋、飛行甲板、艦内各部を案内するなど、本艦の特徴をよく披瀝されていた。

これから就役訓練等多忙になるが、早期に戦力化され、世界でトップクラスの性能を十分に発揮され、南極観測支援などに活躍されることを期待します。

今年11月には第51次南極観測隊(隊員約80人)を乗せ、南極へ向かう予定である。新砕氷艦「しらせ」就役、初入港を心からお祝いします。

(本多副会長 記)



海賊対処法成立

護衛艦「はるさめ」出港 見送り

海賊対処法が6月19日成立し、ソマリア沖、アデン湾における海賊対処で諸外国の船舶の保護や海賊を日本の法律で処罰できることになった。このため、第2護衛隊司令在原政夫1佐を指揮官に「はるさめ」艦長 橋向亮介2佐、乗員約190名と「あまぎり」(舞鶴)の2艦が派遣されることとなり、7月6日「はるさめ」は横須賀を出港した。

浜田防衛大臣、国会議員、折木統幕長、防衛関係団体等の長などが参列され盛大な出港行事が行われた。泉自衛艦隊司令官、松岡横須賀地方総監等多くの指揮官、隊員、家族とともに長崎

横須賀水交会会長以下多数の会員で見送った。行事の前に、士官室において、水交会から

の激励品を会長から、司令立会いのもと、艦長へ贈呈した。行事後、乗組員が乗艦、航が離され、静かに出港し、自衛艦旗小旗、水交会旗が振



られるなか、帽振れが行われ、「はるさめ」は、超長一声の汽笛を残して壮途に就いた。

「はるさめ」及び「あまぎり」は7月下旬には、現地において一次隊「さざなみ」及び「さみだれ」と交代し、任務に就くことになるが、新たな法律による任務遂行のため、平素の訓練をふまえた、ご健闘を祈る次第である。

海賊対処のため、海上交通路の安全ひいては国益のため、はるか遠いソマリア沖において、厳しい環境下、長期間にわたり緊張を強いられる行動に従事されることに対し心から敬意を払い、あわせて感謝するものであります。

(会員投稿)

アウシュビッツを見学して

幹事 吉田かをり



かねてより憧れていたヨーロッパ旅行に行く機会を得て、一



度は行ってみたいと考えていたアウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所に行つてきました。そこには、差別と迫害、

生体実験、大量虐殺など戦争犯罪のすべてがあり、人間の底知れぬ怖さは想像をはるかに超えるものでした。収容されたのはユダヤ人、政治犯、ジプシー、精神障害者、身体障害者、同性愛者、捕虜、聖職者、さらにこれらの人々を匿った者で、その出身国は28カ国に及びます。入口にARBEIT MACHT FREI(働けば自由になる)の文字が掲げられていて「B」の文字が上下逆さまに、つまり上のほうが大きくふくらんでいることに気付かされます。これは収容者が作らされたものでせめてもの抵抗の証としてこのように作ったと考えられています。命を掛けての抵抗にしては、あまりのささやかさに死と隣り合わせの恐怖を感じます。貨車で運ばれてきた人々は

収容理由、思想、職能、人種、宗教、性別、健康状態などの情報をもとに労働者、人体実験の検体、そして価値なしなどに選別され、私物は全部没収されました。没収されたメガネ、義手義足、食器、トランク、靴、ブラシ、そして刈り取られた髪の毛がうず高く山のように展示されています。これだけの人達の生活がここで途絶えてしまったのです。(展示品は残っていたほんの一部です。)価値なしと判断された人々の多くは女性、子供、老人でそのままガス室などに送られ処分されました。即刻の処分を免れた人々も劣悪な住環境や食糧事情、蔓延する伝染病、過酷な労働と懲罰で多くの人々が命を落としています。アウシュビッツで人間がどこまで冷酷になれるかを見せ付けられました。しかし、一方ではいかなる迫害にあつても最後まで理性を失うことなく、人間としての誇りを貫き通した人たちもいたことに希望が持てました。死亡者の正式の数は不明ですが、公式には150万人とされています。多くの人々が銃殺刑に処せられた死の壁に日本の小学校から送られた千羽鶴が印象的で、平和を誓い二度と同じ過ちを犯さぬよう私たちに呼びかけてい

るようでした。

(会員投稿)

ネルソン提督の英国

会員 佐野 恭子

3月と6月、ロンドンに行った。3月は学生たちの旅行シーズン。



フライトの隣席は北大獣医学科の卒業旅行の青年「国家試験の結果を待たずにラグビー部員全員でイタリアに。」彼の卒論はDNAに組み込まれているその細胞自身を殺す指示を取り除いたマウスだという。そういうマウスでも生殖は可能で子孫を残すが子孫は筋肉が発達せずに成獣とならない。「細胞自身を殺すDNA?」「それがないと、赤血球でも古いものが死んで新しいのと、取り替わらないんです。がん細胞にはそれが無いんですよ。獣医になるには学卒で6年かかります。獣医がいらないと生きている動物はもちろん、食肉も輸出入できないんです。検査しますから」彼は奨学生だった。ヒースローでは、灘高から東大理三

に入った小柄な医者のおと一緒になる。一足先に仲間が研修に入っているロンドン郊外の病院へ短期研修に行くという。東大には、非常に手厚いネットワークと、とにかく金があり、海外研修には最優遇されている。一人旅の私は部屋で食事する。ハロツズでハムを買うため並ぶと、前の金髪の背の高い美人が楽しそうにお買い物をし、「それと同じ!」と言った私の番の終わるのを待つて、「コーヒーは如何?」それ以来クリシーと親しい友人になった。65歳夫君は船会社のオーナー。クリシーは「イギリスは、変わった。マナーが悪くなった。私が両手に大荷物を持って歩けば誰かが持ってくれた。今は、アラブ人だと思ふ外人が3人横並びで向こうから来て道を譲らない。私も譲らずにまっすぐ歩いたわ。顔がぶつかるところまで来て、中の一人が私を怒鳴りつけて道を譲った、彼の唾液が、私のおごにかかったわ。」

今回、6月には彼女の別荘にドライブして行った。初夏の日差しの中、広い庭は豪華な緑と花壇、「ウインブルドンに招待されると、イギリスの毎に、イギリスのクリームをかけて出されるのよ」を、ふるまってくれた。クリー

ムの粘度が、みそほどに濃いもの、とろりとするほどのもの、何種類も有っ

ていずれも美味。6月23日ニック・スロウ博士と待ち合わせてグリニッジ王立海事博物館に行った。彼はネルソン協会の前会長で、私を協会員にしてくれ、ネルソンの解説をしてくれた。ここにはネルソン提督に関する私物を初めさまざまな歴史が展示されていた。右目と右腕の無い小柄な男がトラファルガー海戦を勝利に導いた。その開戦時に掲げた激励文は、私には東郷元帥の「皇国の興廃この一戦に…」と同文に思えた。ネルソンタッチと呼ばれる斬新で勇猛な戦法も秋山参謀と同じ苦労があったことだろう。左肩に銃痕ありし軍服と、遺髪はひそかに 待ち受けておりネルソン提督の人氣は非常に高い。ロンドンと真ん中のトラファルガー広場に55mの円柱と像があり、1940年のヴィヴィアン・リー、ローレンス・オリヴィエの「美女ありき」は、二人の絶頂期の作品。スロウ博士がグリニッジの丘に連れて行ってくれた。一面の深い緑、輝く大樹。『光打つ 緑の広野を 子供らが

広がり走る グリニッジは初夏。海軍病院に属するペインテッドホールで、戦死したネルソン提督の遺体は大勢の弔問を受けたという。同所で2005年10月21日、二百年祭がエリザベス女王の臨席を得て行われた。スロウ博士はご自身の招待席を誇らしげに示した。

私がネルソン提督の早すぎる死を残念がると、博士は「彼はいくつもの海戦での戦果の中でこそ輝く男。サーウインストンチャールズが第二次世界大戦の中でこそ偉大で有って、平時で有れば平凡な男にすぎなかったのと同じだ」と分析された。「ボートで帰ろう」という博士に従ってウエストミンスターまでテムズ船人となる。『テムズ光り ロンドン橋をくぐるとき 君の渡せる a cup of tea』「このように濃いお茶をガンパウダー(真黒)というのだ。」、まさしくガンパウダーを見るときは思わなかった、ポーツマスにネルソンを訪ねた。パンフに「800年間のロイヤルネイビー」と書かれた王立海軍博物館、ネルソンの旗艦ヴィクトリー、海底から引き揚げられたメリーロウズ、戦艦ウォリア(勇士の意)。ヴィクトリーとウォーリ

アは現在もHMS艦籍を持つ。広大なドックヤード全体がネルソン協会に属するとのこと。メンバーなので解説者が付いた。ネルソンゆかりの遺品のオリジナルがあり、実到大勢の子供たちが引率されて来ていた。さまざまな武器と弾薬の展示、戦闘場面のビデオでは、人間が粉々にふつ飛ぶ。首に刀を当てて切り落とす間際の彫像。実際の刀剣を動かしてみてもできる。至近距離での海戦のむごさを目の当たりにする。旗艦ヴィクトリーはあまりの暗さ、狭さ、天井の低さが恐ろしかった。この極小空間で人間が走り回ったのか？火薬（ガンパウダー）の詰まった樽のお隣で寝るハンモックの小さは信じ難かったし、医療室は形ばかりのもの。それでも立派なネルソンの居室には、愛人ハミルトン夫人と愛娘の肖像画。最後に解説者の厚意でヴィクトリーの帆の実物を見る：ぼろぼろ。大英帝国を構築するまでのただならぬ犠牲と刻苦勉強があり今日のイギリスがある。長い困難な戦いを勝ち抜いてきた先人がいるのだ。・が私の受け取ったメッセージだった。

デリアの下でシャンペン、庭でディナー。ご子息夫妻と5人忌憚ない意見を交わした。貧しかった日本の優れた教育、EUに入りながらも通貨はポンドという姿勢、日本が英国海軍から学んだこと、日露戦争の際の英国の支援、ネルソン提督に対するイギリス国民の尊敬・11時に夫君とクリシーが地下鉄は薦められないと車で送ってくれた。ネルソン提督を通して、イギリスが大国になるまでの苦しい海戦を今も子供たちに伝えている事を感じた。

馬門山海軍墓地で墓前祭

第54回馬門山海軍墓地墓前祭は、5月16日(土)午前9時から10時の間、新緑の薫る横須賀市馬門山墓地(旧海軍墓地 横須賀市根岸町1丁目5番地)において実施された。墓前祭は、遺族関係者を始め、横須賀市長、市議会副議長、横須賀地方総監部、護衛艦隊司令部等各艦隊の幕僚長及び多くの海上自衛隊部隊指揮官、主催6団体(横須賀水交会、隊友会横須賀支部、大津観光協会、大津地区社会福祉協議会、農洋会、大津地区町内連合会)関係者並

びに一般市民等310名にのぼる多数の参加を得て厳粛に執り行われた。

主幹事は、前述の主催6団体が毎年持ち回りで努めており、今年は大津地区社会福祉協議会が主幹事を担当した。横須賀水交会からは、長崎会長等30名が参列し心から哀悼の意を示し慰霊に努めた。



式次第は、一同拝礼の後、国歌斉唱、鈴木大津地区社会福祉協議会会長及び蒲谷横須賀市長の追悼のこぼ、儀仗隊拝礼、献花、弔銃発射、最後に黙祷を捧げるといふ流れであった。なかでも海上自衛隊の儀仗隊拝礼及び弔銃発射は節度と威厳に溢れ墓前祭を引き締め大いに盛り上げた。

事後の主催6団体の反省会において、事務局から、墓前祭は年々参加者が増大し盛会になっており各主催団体の協力に感謝する旨のお礼の言葉があった。(小島幹事 記)

「海軍の碑」記念行事を開催

横須賀水交会は、海軍記念日の5月27日(土)1200から1220の間、横須賀ウェルニ公園内に在る「海軍の碑」の前において、平成21年度「海軍の碑」記念行事を実施した。

本碑は、平成7年全国の海軍関係者及び有志からの浄財により建立されたものであり、記念行事は、平成13年までは海友会が、海友会と横須賀水交会が合同した平成14年以降は横須賀水交会が毎年5月27日の海軍記念日に執り行っているものである。



当日は、快晴に恵まれ、横須賀水

交會会員及び旧海軍の先輩等約50名の参加を得て整齊と執り行われた。次第は、ラッパ「君が代」の伴奏による国旗及び軍艦旗の掲揚に始まり、海軍戦没者の英霊に対しての黙祷、長崎横須賀水交會会長の挨拶、引き続き、碑の建立委員長でもあつた常廣元横総監から「日本海

海戦に臨むバルチック艦隊の士気」について、氏の鋭い洞察力に基づく根拠を示されての興味深い講話(次項)を拝聴した。最後に鎮魂の譜(同期の桜)「巡検ラッパ」「海ゆかば」を聴き、終始厳かに執り行われ短時間ではあつたが海軍の業績を偲ぶと共に海軍の英霊の追悼と永遠の平和希求に相応しい記念行事であつた。

行事終了後、参加者は、記念艦「三笠」での記念式典へと向かわれた。(小島幹事 記)

【記念講話】
バルチック艦隊は勝算を持つての来航であつたのであるうか？

常廣元横須賀地方総監

結論を先に言

えば、ノシベ以降は明確に戦意を失つており、勝てる公算も無く、進まなければならぬといふ状態であつたと言えよう。その悲哀、推して

知るべしと言いたい。独裁国家の悲劇と言ふべきである。

結論を先に述べたが、それを示唆する例をいくつか、時系列を追つて挙げる。

1 派遣決定は37年5月、出発予定8月、実際の出港は10月15日、2ヶ月も遅れた理由は「アリオール」のサボタージュによる完成の遅延

が大きい。(座礁、船体舵損傷、ドック入り)

2 8月10日の黄海海戦の敗北に鑑み、海軍当局は勝てる公算が少ないと判断、艦隊派遣取り止めを皇帝に進言する。皇帝却下。独裁皇帝のメンツ(開戦当初にも派遣なしの決定を皇帝が破棄、膠州湾に逃げ込んだ「ツレザレウィッチ」の沈没な

しを口長官喜ぶ)

3 リバウ出港に先立つての壮行会での、「アレキサンドル三世」「アリオール」両艦長の悲壮な決意、マスコミのスクープ。(「黄海で敗北しようが、祖国の名誉のため最後まで戦い、決して捕虜にはならない」)

4 艦隊出港の1ヶ月後に、海軍大 schoolsの中佐教官が、バルチック艦隊敗北予想の論文を書き、海軍当局により部内に発表される。が後日教官は処罰される。(発表は当局の敗北時の責任回避)

5 旅順艦隊消滅後、海軍当局は再度皇帝に派遣中止を進言する。皇帝却下、第3艦隊の増派となる。独裁皇帝のメンツ

6 ロジエストウエンスキー長官は早期のノシベ出港(日本艦隊の準備未整備のうち)を拒否され、且つ「棺桶艦隊」を押し付けられ、嫌気がさしたか、辞表提出(皇帝却下)

7 ロジエストウエンスキー長官の捨台詞? 仏印出港時、本国に電報、「負ければ東郷が報せる・・・」

8 これらの情報は一般乗員にも当然知れ、劣悪な環境も加わり、乗員の士気は低下、騒擾、サボタージュ

生起、航海中もしばしば不審な機械故障が起きている。士気の低下は甚だしかったと考えられる。

ロジエストウエンスキー長官の当初の意気込みも途中で碎けた模様。実情を良く知る士官連中は当初から悲観論者が多かった。一般乗員の士気は最低になっていった。

この状態もあつて、ロジエストウエンスキー長官は進出を意図して遅らせ、日本艦隊の北方転移を期待したようであつたが、自らの錯誤で失敗した。この件(5月25日、輸送船群を上海に送り、所在を暴露、日本側は26日夕刻北転の予定であつた)は先に話した。

あまりにも大きい犠牲、艦船21隻と乗員5千人の喪失の悲哀は、まさに独裁国家の悲劇であつた、と言える日本海海戦であつた。

新潟方面へ親睦旅行
菊水酒造高澤会長へ感謝こめて

横須賀水交會ではかねて、親睦旅行をしようと考えていたが、6月4、5日新潟方面の親睦、研修旅行を実施し成果をあげた。



毎年、新年の賀詞交歓会に鏡開きの樽酒を提供してくださる菊水酒造(株)に感謝の意を表わし、会社研修をしようとしたいきさつから実現したものである。

会社研修に際し、代表取締役会長 高澤英介氏(横須賀水交会会員)へ 長崎会長 から感謝 状、水交 会の楯な どを記念 品として 寄贈した。 今回の



旅行は一行17名で終始、品格を保ち、なごやかななか、菊水酒造のほか、長岡郷土資料館、月岡温泉、武田神社、勝沼ワイナリーなどにも訪れ、充実した2日間のバス旅行であった。

特に、この旅行を通じて、天地人の直江兼続、河井継之助、米百俵の小林虎三郎、山本五十六等先人の遺徳を学び、その足跡をたどることが出来た。

信兼幹事の周到な計画調整、参加者それぞれの役割、気配りにより、

早朝出発、夜帰着ながら、常に笑いが絶えず、暇を与えず中身の濃い2日間であった。(本多副会長 記)

第18回横須賀水交会主催

ゴルフコンペ

去る5月29日(金)、第18回横須賀水交会主催ゴルフコンペを千葉房総半島の龜山湖カントリークラブにて開催しました。

当日はあいにくの雨であり、参加者の一部からは、幹事の行いが悪いとか、もつ中止したらどうか」という厳しい進言もありました。ゴルフは全天候性のスポーツという強い信念のもと強行したところ午後からは雨もやみ、長崎会長以下34名のゴルフ愛好者が腕を競っていました。開かれた横須賀水交会ゴルフコンペの方針により広く参加者を募りましたところ、民間から参加者が1名ありました。

競技はダブルペリア方式で実施しましたが、優勝を昭和11年生まれで73歳の近藤義美氏がグロス76、ハンディキャップ2.4で勝ち取り、2位には自衛隊OBではない民間

出身の鈴木今朝夫氏、3位鈴木達夫氏という成績でした。

優勝した近藤義美氏は年間ゴルフレイ百回を超える猛者であり、69歳からエイジシユートを達成し、すでにその回数約30回を超えると聞いています。横須賀水交会は今後とも打倒近藤義美氏を目標に頑張りたいと思います。

ベストグロス賞には、シニアの部(65歳以上)近藤義美氏がグロス76で、ジュニアの部(65歳未満)白川久美一氏がグロス88で受賞しました。

今回は特に賞品にひと工夫しました。漁業をしている宮原栄二会員に協力をお願いし大会の2、3日前に獲れた魚を干物にしてもらい、この干物セットを各入賞者に賞品として渡しました。これは日頃ゴルフウイドウとして迷惑をかけている奥様方を懐柔しようという考えからです。この干物セットは量、味ともに申し分なく奥様方から今までのゴルフ賞品の中で最高だったと言っ評価を得ています。

今後ともに水交会活動の理解を深めてもらうために、各種方面にア

イディアをこらし参加者数を増加させたいと考えておりますのでよろしくご協力のほどお願いいたします。(持永幹事 記)

訃報

本年3月以降、次の会員が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

鈴木信七(幹予11) 3月17日 (河村幹事 記)

新(編)入会員(3月~6月)

次の方々が横須賀水交会に新たに入会(編入)されました。(敬称略)

- 小林 正男(幹候24) 半田 謙次郎(幹候24) 宮崎 俊隆(幹候28) 小野 和子(事務官) 氏野 良則(生徒17) 長尾 晴幸(幹候31) 田村 博義(幹候28) (河村幹事 記)

編集後記

7月号は内容が豊富で充実した新聞となりました。11月号及び3月号は記事が少なくなりがちです、皆様からの投稿をおまちしております。(岩永幹事 記)